

- ろおび(5)
 11. 日本気象協会神戸支部 兵庫県気象月報
 12. 林 俊雅(1981) 洲本市の蝶類採集記録
 Parnassius (24)
 13. 広畑政己(1982) 兵庫県産蝶類分布資料(2)
 てんとうむし(8)
 14. 広畑政己(1980) 兵庫県のナガサキアゲハ
 ひろおび(5)
 15. 福田晴夫ほか 原色日本蝶類生態図鑑(II)
 (保育社)
 16. 松井英子、松井安俊(1981) ヒメアカタテハの非休眠
 越冬 昆虫と自然16(10)
 17. 松井英子、松井安俊(1982) 南関東におけるヒメアカ
 タテハの幼虫の越冬例
 月刊むし No.136
 18. 松井英子、松井安俊(1983) 日本列島におけるヒメア
 カタテハの移動 昆虫と
 自然18(2)
 19. 三木 進(1979) 六甲山系(西部)の蝶
 きべりはむし 7(1)
 20. 山本広一、吉阪道雄(1960) 兵庫県産蝶類目録(3) 兵
 庫生物 4(1)

(Shinichi Kondo)

〒674 神戸市

ヒロオビミドリシジミを追って

川 崎 悟 良

ヒロオビミドリシジミの食樹ナラガシワをもとめて今回は新宮町の牧と同町千本に的をしぼり、会員7名にて分布調査を行った。あいにくの小雨で、午後には本降りとなったが、卵は発見できて、雨の中の苦労が実った。他に幾種類かの卵や幼虫が採集できたのでその記録の中から1例ずつ下記の通り報告する。

(採集記録)

1. 新宮町牧

ミズイロオナガシジミ	13卵	岩村 巖
ウスイロオナガシジミ	9卵	近藤伸一
アカシジミ	1卵	〃
ウラゴマダラシジミ	13卵	広畑政己

ウラジロミドリシジミ	10卵	八木 弘
ウラミスジシジミ	2卵	川崎悟良
ヒロオビミドリシジミ	1卵	広畑政己

2. 新宮町千本

ミズイロオナガシジミ	1卵	広畑政己
ウスイロオナガシジミ	14卵	〃
ウラゴマダラシジミ	3卵	〃
ウラジロミドリシジミ	2卵	佐々木薫
ゴマダラチョウ	幼虫2頭	近藤伸一
オオムラサキ	幼虫1頭	〃

以上、採集日は1984年1月15日である。尚、念のためヒロオビミドリシジミの卵の同定は原雅幸氏にお願いした。ここに記してお礼申し上げる。

Goro Kawasaki

〒678 相生市

メスアカミドリシジミの 採集記録2例

広 畑 政 己

本種は県下中西部の山地には広く分布しているが、南部にいくにしたがって産地は少なくなる。

県下に於ける南限の記録は姫路市林田町六九谷であるが、確実に分布しているということになれば、夢前町雪彦山から山崎町峠を経て佐用町日名倉山を結ぶ線が現在のところ本種の分布の南限となっている。

このたび発見した産地は、佐用町上石井の標高約280mの地点で、若州部落に入る手前の佐用川沿のサクラより3卵を得ている。千種川水系の佐用川流域では、高田・井手(1978)の日名倉山の記録に次ぐもので、それよりさらに南の記録である。

あと1例は、円山川水系神子畑川支流の佐中川流域の佐中(標高約300m)で、2卵を採集している。朝来町では奥多々良木³⁾の記録があるが、その他の記録は見当たらないので報告しておきたい。

(採集記録)

佐用郡佐用町上石井 3卵 27-XI -1983

広畑政己

朝来郡朝来町佐中 1♂1♀(羽化) 8-V-1983

広畑政己

〈参考文献〉

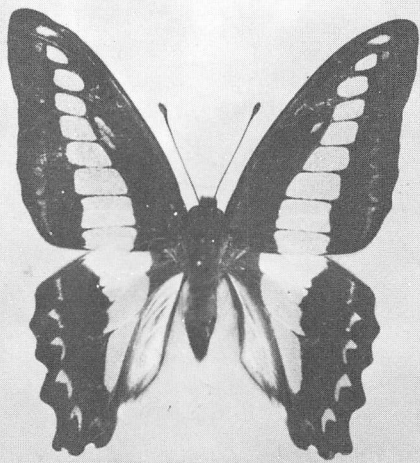
- 1) 高田忠彦、井手敏晴(1978) 兵庫県産蝶類調査報
MDKNEWS 28(79) :30-32
- 2) 相坂耕作(1980) 姫路市の昆虫 てんとうむし(6)
:11-12
- 3) 岩村 巖(1980) 西播の蝶分布資料 てんとうむ
し(6) :21-22

Masami Hirohata 〒671-22 姫路市打越1343-259

アオスジアゲハの エサキ型採集例

佐々木 薫

アオスジアゲハ前翅中室内に斑紋の現れた個体（エサキ型）の採集例は播磨蝶友会の会員である入江照夫氏によっても会誌ひろおびNo.4 P14に於いて採集報告され、他にも時々採集例をみることがあるが当地域からの報告はこれまでは無かったと思うので知らせておく。



採集地 兵庫県波賀町原 赤西溪谷

採集日 15. V. 1983

採集者 佐々木 薫

未筆ながら今回の報告にあたって写真を撮っていた
だいた入江照夫氏にお礼を申しあげる。

〈参考文献〉

1. 入江照夫 室津の異常型アオスジアゲハ
ひろおびNo.4

Kaoru Sasaki

〒678 兵庫県相生市赤坂町1丁目121の1

ナガサキアゲハ雌の黒化型

広畑 政己

本種の雌の後翅の白斑は南下するほど発達する傾向が強く、八重島諸島のものは白化が顕著に現れることはよく知られている。

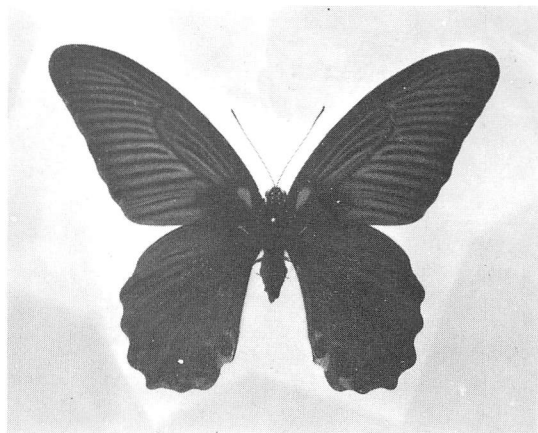
兵庫県に於ては、ときおり白斑の発達した個体が採集されるが、大半は白斑の発達が弱く、後翅3室か、よくでて4室までである。

この度羽化した個体は、白斑が全く見られず、一見雄と思われるような個体である。この他にも2頭の雌が羽化しているが、この個体に近いものが1頭と、後翅2室と3室に白斑が少し現れたものが1頭羽化している。

母蝶も後翅は3室までわずかに現れた個体であったが、10月10日に採卵し、羽化が寒季の1月27日ということも多少影響しているのかもしれない。母蝶を御提供下さった唐土洋一氏にお礼申し上げる。

〈データ〉

相生市鰯浜 1♀ 27-I-1983 (羽化)



Masami Hirohata

〒671-22 姫路市打越1343-259